

## 地域コミット型ソーラーの基本的な考え方

# 地域を支える 地域コミット型太陽光発電による収益還元の開

### 背景(地域課題)

- ・遊休地や耕作放棄地の増大
- ・情報や資金、発電事業のノウハウ不足
- ・ニーズにマッチングして事業をデザインする **中間支援** の不在
- ・地域外資本との競争力の無さから事業機会を喪失



**一社)徳島地域エネルギー  
が、仲立ち(中間支援)**



**地域の資源と価値を最大化する**



一般社団法人  
徳島地域エネルギー  
Tokushima Regional Energy  
General incorporated Assosiation

徳島県名東郡佐那河内村上字仁井田100-2

# その1 コミュニティ・ハッピーソーラー CHS 寄付金を伴う (2014～現在)



コミュニティ・ハッピーソーラーの実績

発電所名	所在地	立地	出力kW	完成年月	事業形態・特徴
佐那河内みつばち海のソーラー半岐	佐那河内村 半岐町	村有遊休地 校舎屋上 町有遊休地	120 42 48	H26.3 H26.6 H26.11	CHS*、SPC、募集300口 CHS*、地域エネ**、募集300口
ゆずの里発電所	那賀町	民間遊休地 町有遊休地	500	H27.2	CHS*、SPC、募集2000口
鳴門市	鳴門市	校舎屋上 (4箇所)	165 (合計)	H27.秋	CHS*、地域エネ**

CHS\*:コミュニティ・ハッピーソーラー、地域エネ\*\*:一般社団法人徳島地域エネルギー

一番設置年が遅い鳴門市小中学校屋上ソーラーは、FIT価格31円/kWhである。現在は、FIT価格が10円程度に下がり、コミュニティ・ハッピーソーラーが規模が小さいと困難なので、新設を保留し既存施設の良好な保守管理と利益還元（寄付）に努めている。

- ①市民からの寄付金を契機に、地域金融の融資を受けてコミュニティ・ハッピーソーラー(CHS)を建設
- ②完成稼働したら1年後に寄付金相当額のお礼をする
- ③お礼の5年間が終わったら、**6年目より売電金額から必要経費を引いた受益**を市町村に全額寄付する。  
(市町村には施設使用料+還元受益を2035年頃になる**FIT終了年まで**毎年支払う)

※当法人は、建設資金借入とその返済、施設の保安管理を担う



2021.5.21コミュニティ・ハッピーソーラーの利益を鳴門市に寄付する覚書の調印式が行われ、しくみは完結した。  
(左は泉鳴門市長、右は当法人前代表理事)

※ゆずの里発電所：地域の自主性から保安管理や資金償還、利益還元方法のすべては地元の総合的な地域振興団体「働きとうむら」が行っている。

# ○施設の現地写真

## 第1号 佐那河内みつばちソーラー

徳島地域エネルギー主体で SPC を設立

出力 120kW、H26 年 3 月運転開始

総事業費約 3700 万円、寄付金 320 口-320 万円

資本金 50 万円、工事費は金融機関の融資でまかなう。

2~6 年目の収益：寄付者にお礼、余剰は村の基金に寄付

7~20 年目の収益：村の環境基金に寄付し農村を支援

20 年後：撤去又は地域に無償譲渡



## 第2号 海のソーラー牟岐

(寄付金募集 300 口)

運営：徳島地域エネルギー

(1) 旧牟岐小学校屋上

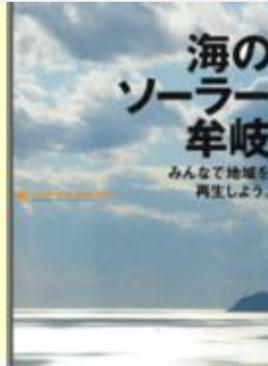
出力 42kW

H26 年 6 月運転開始

(2) 町有遊休地

出力 48kW

H26 年 11 月運転開始



町道事業の残地買収の未利用地と小学校廃校屋上

## 第5号 鳴門小中学校屋上 ソーラー

4箇



瀬戸小学校 38.5kW  
 坂東小学校 49.5kW  
 鳴門西小学校 33kW  
 鳴門第二中学校 22kW  
 合計 143kW

年間売上約520万円  
 年間CO2削減量 約110トン

小中学校の未利用の屋上（陸屋根）

## 第3号

### ゆずの里発電所

(寄付金募集 2000 口)

運営：(株)ゆずの里発電所

地元(株)きとうむらが設立

出力 500kW、建設中、

平成 27 年 2 月完成予定



山あい日当たりのよい  
 広い土地  
 Google map



道路事業等の残土捨て場

寄付者名を表示



国道事業の土捨て場であって整地されていたが未利用だった。



# ○寄付のお礼（1年後より5年後まで）と波及効果

寄付金 1万円  
 5回 2,000円相当  
 2回 5,000円相当  
 1回 10,000円相当

5回（1年後から毎年1回 1回2000円相当）

1回（1年後のみ 1万円相当）



あわび（海のソーラー牟岐）



ブリ1本（海のソーラー牟岐）



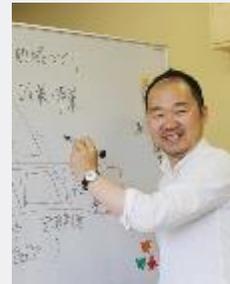
村の玉手箱（お礼）

地産品詰め合わせ  
 （みつばち）

地域の特産物のおいしさを味わっていただき、5年間のお返し終了後も、地域産品のお客様になってもらえれば、という思いで贈りました。  
 事業者には1年間寄付金を運用させて貰うというメリットもある。

○2019年より地域貢献のための市町村へ寄付（箇所により年間20万円～50万円をFIT存続期間中に寄付を継続実施中

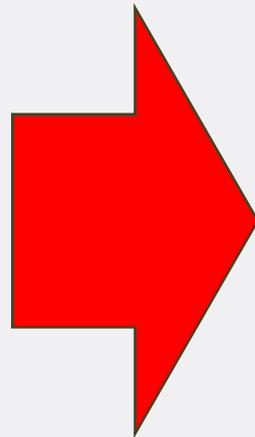
## 北海道鶴居村に波及（寄付金3万円）



現滋賀県立大平岡俊一先生

事業主体

一般社団法人「くしろソーシャルデザインネットワーク」



みんなの力が、北海道鶴居村を元気にする  
**鶴居サルルンソーラー発電所 mini**  
 Tsuru • The Most beautiful village  
 地域活性化に貢献する太陽光発電所の設置に対する寄付を募集しています！

1 1口3万円の寄付金  
 2 鶴居村に太陽光発電所設置  
 3 発電した電気を売電  
 4 寄付者の皆様に鶴居村の地産品等をお礼として贈呈

【寄付金額】108万円  
 【設置場所】北海道鶴居村の一般住宅の敷地内  
 【発電容量】約4,400kW  
 【年間発電量】約4,700kWh  
 【売電期間】約18万円

【問い合わせ先】  
 一般社団法人くしろソーシャルデザインネットワーク（札幌：北沢）  
 電話：011-313-7274 FAX：0114-31-0825  
 Email: kusiro.sdn@gmail.com HP: http://kusiro-sdn.jp/

2014年12月5日 募集開始  
 2014年12月18日 締切  
 3万円（最大2口まで申し込み可）



鶴居サルルンソーラー発電所mini



お礼品の一例：蜂蜜がずー、はちみつセット

## その2 利益の地域還元ソーラー (2014年～現在)

- 鳴門商工会議所を事業主体に、商工業を直接応援するソーラーを、市有地に建設(寄付金スキームはとらない)

- 2カ所 ①鳴門衛生センター 300kW  
②牛屋島ソーラー 680kW

直接経済効果 8億円(20年)  
CO2削減 年500トン



鳴門衛生センターソーラー (ゴミ焼却炉移転跡地)



牛屋島ソーラー



当法人が市有遊休地で太陽光発電をコーディネート、鳴門商工会議所と大麻商工会とに「株式会社鳴門太陽光発電所」を作ってもらい、収益の地域還元を行ってもらった。施設は、当法人電気主任技術者が保安管理している。

徳島新聞  
鳴門太陽光発電所 脱炭素社会へ市と協定締結 | ...

**建設10年後の令和5年度(2023年度)より10年間年間1,000万円を鳴門市に寄付実施が決定。地域振興と脱炭素社会の建設事業に活かす。**

(令和5年7月12日市と鳴門太陽光発電所との協定を締結、議会承認を受ける。写真左は泉鳴門市長)

### <今後の提言>

全国各地に広範に降りそそぐ太陽の恩恵を、地域で事業化を行い地域振興に結び付けるのは、脱炭素が国際約束になっている現在、国家にとっても喫緊の課題である。

太陽の恵み(エネルギー)は緯度が高い地域は小さいが平均約1kW/m<sup>2</sup>と言われている。この恵まれた中緯度のエネルギーは、国土の70%を占める森林でも土地利用が高い都市部でも郊外でも同じである。

森は全国土の68%に及び、大都市は5%前後と言われる。ここに農山村部と森林でのエネルギーの利活用に大きな可能性が見いだせる。

耕作放棄地や集落遊休地での太陽光発電、森林の炭素循環に入った炭素中立なバイオマスエネルギーやカーボンマイナスなCCUSを利用したカーボンマイナス事業にも取り組んでまいります。

当法人は、機会あるごとにこれらの利用を推進し、政策を提言し、新たなエネルギー利用を進めていきます。



兵庫県と推進している広葉樹林を資源に、大規模な熱利用創出計画



徳島県営の大水力を地域大企業を巻き込んで地域新電力で、太陽光発電を含めた地域振興行う計画